

環境配慮型 食品包装用ナイロンフィルム「エンブレム CE」 の開発について

ユニチカ株式会社（本社：大阪府中央区 社長：上埜修司）は、ユニチカグループで推進する『for the EARTH』※活動の一環として、ケミカルリサイクルによる再生資源を有効活用した食品包装用ナイロンフィルム「エンブレム CE」の開発に成功しました。すでに、宇治事業所内の既存生産設備にて、生産方法を確立しており、顧客へのマーケティング活動を開始しました。

※『for the EARTH』=ユニチカグループでは、エコ素材・環境関連製品と活動をひとつのテーマ、地球のために=for the EARTH という名のもとで最重要課題として取り組みを推進しています。

1. 「エンブレム CE」開発の背景について

昨今の環境問題への意識の高まりの中、循環型社会による持続可能な成長社会を目指す”Circular Economy:CE”(循環経済)の考えに基づいて、植物由来の原料を用いたフィルムや、市場から回収されたプラスチックをリサイクルしたプラスチックフィルムが環境配慮型フィルムとして使用され始めています。しかしながら、これらの環境配慮型フィルムは、使用する材質によっては従来の石油由来のフィルムと比較して機械物性の低下や衛生性の観点から、食品包装用途に推奨できない等の問題がありました。

今回開発した環境配慮型ナイロンフィルム「エンブレム CE」は、当社の重合設備にてケミカルリサイクルし、再生したナイロン樹脂を使用したフィルムです。ケミカルリサイクルは、製品として利用できない、もしくは使用済みのプラスチックフィルムや成形品を化学的に分解することでプラスチック原料に戻し、異物を取り除いた後、再重合により再度製品として使用する方法です。

2. 「エンブレム CE」の特長などについて

「エンブレム CE」は、ケミカルリサイクルナイロンとフィルムの製造工程内で発生した端材等を利用したマテリアルリサイクルを併用することで、機械物性、印刷適性などを損ねることなく、再生材料の利用比率を50%以上にすることが可能です。さらに、リサイクルする原料を厳密に管理することで、食品包装用途への使用を可能にしました。

○環境配慮型食品包装用ナイロンフィルム「エンブレム CE」製造フロー



3. 今後の展開について

「エンブレム CE」は、2020年4月から実機での生産を開始し、2022年度以降、500トン/年の販売を目指します。また、現在は当社グループの製造工程内で発生したフィルム、樹脂を再生材料の原料としていますが、今後はフィルムの販売先である印刷・加工メーカーとの取り組みにより、再生材料の回収をも検討しています。

当社は、環境配慮型の素材開発による事業展開を推進しており、今後も食品包装用途へのケミカルリサイクルによる環境配慮型フィルムのラインナップを拡充し、ビジネス拡大を目指します。

以上

<この製品に関するお客様のお問い合わせ先>

ユニチカ株式会社 包装フィルム営業部

東京 TEL:03-3246-7586

大阪 TEL:06-6281-5553

<この製品に関する報道関係者からのお問い合わせ先>

ユニチカ株式会社 広報グループ

TEL:06-6281-5695